

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	未来保育 CLUB
所在地	東京都町田市中町 1-31-4NTT 町田ビル 1F
対象クラス	1歳児（こあら）組

## 1. 活動のテーマ

### <テーマ>

自然物・光の動き、色の発見などへの興味の持ち方

### <テーマの設定理由>

気温が落ち着いてくることで戸外活動が増えていく。また、子ども達から言葉も増えていることで今までと違う反応が見られたり興味の視点が違うのと、普段から影などに興味を持つことがあり、子ども達の興味を光の動きをより分かるようにセロハンを使ってどの興味の持ち方をするのかを知るため。

## 2. 活動スケジュール

令和7年10月～令和8年3月

- ・戸外活動
- ・室内活動
  - ・セロハンを使って遊んでみよう
  - ・光と影のトンネルを通ろう

## 3. 探究活動の実践

### <活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・お散歩用リュック
- ・砂場セット(バケツ・シャベル)
- ・カラーセロハン      ・セロテープ      ・カラーポリ袋
- ・机など
- ・ビニール袋

## ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり

・気温も落ち着き始め、戸外活動を再開しようと思うと子ども達から「どんぐりあるかな〜？」との声上がる。公園よりも近隣の神社の境内に会う R ことを知っていたので行って見る。神社につくまでの間にもあるかな〜と話し期待をしている様子が伝わってくる。神社だけでなく大きな公園にも行ってみるとすぐに「どこ〜？」と言いながら探し始める子どもがいる。しかし、つくとどんぐりより葉っぱをしゃがんで見たり触ったり、走り回ったりすることに興味が行ってしまいう子も多い。一人が、どんぐりを見つけ保育者に「みてみて〜」ともってくる。と次から次へと探し始める。どんぐりや葉っぱは袋に入れて持ち帰るようにすると探す事、袋に入れることに楽しさを感じたのか目をキラキラさせて楽しそうに探し続ける姿がある。

・あるとき、ふと室内の影（光の差し込みによる建物の影）に気付く子がいた。触ってみたりその場に寝ころんでみたりするうちに自分が動くことでも影あることに気付く。カラーセロハンを何色か適当な大ききで用意し室内に持ち込むとすぐに興味を示し手に取ってみる。最初は手触りを確認しているかのようなようだったがそのうち自分たちで目の所に当てて周りを見たり、色の名前を行ったり保育者に聞いたりして楽しんでいる。窓にセロハンを張ってみると差し込む光(影)に色がつくことで、好きな色の所に行ってみたり、触ってみたり、自分の持っているセロハンも張ってほしいと要求してきたりする。中には、差し込んである光の色の横に一緒に寝て「みて〜」と医いたりしている。そのあと、しばらく散歩に出た時に自分たちの影を見つめたり保育者の影を追っかけて踏もうとする姿が見られた。



## 4. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ずっと同じことに興味を持っている子がいた。(1歳児で)
- ・外に出るときに何に興味を持つかわからないので、いつでも持って帰れるように袋などあることがよかった。
- ・自然物という事で、自然光にも興味を持ったことで光と影があるという事を知ったと思う。
- ・この後、陰から今度は何に興味を持つかわからないのでいろいろな場面で気付けるようにしてあげられたら良いかもしれない。
- ・影は室内でも外でも作ることが出来ると思う。うまく環境設定を行いながら空間にそれとなくできるようにして子ども達の様子を見ていけるとよいと思う。
- ・どんぐりなどの自然物は、かなり好きなようだが「集める事」「袋に入れる事」に一番の興味があると思われる。
- ・保育者の声掛けなしでも、子ども達の動き・興味が広がり行動が発展していくが、やはりこの年齢では模倣も多く興味を持ったかと思うとすぐに飽きて違う事を行う子も多かった。
- ・一年の後半になり、ほとんど2歳を迎え言葉も増え、最初のころとは違い子どもたち同士での会話が増え一緒に何かを行う姿が増えていたような気がする。